



教えて 管田先生!!



ヒトメタニューモウイルス (human metapneumovirus; hMPV)



Q ヒトメタニューモウイルスってどんなウイルスですか？

A パラミクソウイルス科に属し2001年に発見された比較的新しい呼吸器感染をおこすウイルスです。長い名前のため医療機関では‘ヒトメタ’と呼ばれることもあります。4月号でお伝えしたRSウイルス(RSV)ともよく似た症状を起こしますが、異なる点を下記に挙げてみます。診断には鼻腔からのぬぐい液を用いた迅速診断キットが普及していますが、小児のみ保険適応があります。そのため成人例は診断されていないことが多いと考えられます。10歳までに一度は罹患するとされていますが、成人でも罹患することがあるため注意が必要です。高齢者施設内での流行も報告されています。

	RSV	ヒトメタニューモウイルス
流行時期	冬から春	春から夏(RSVの流行後)
罹患年齢	乳幼児が主	あらゆる年代
主症状	喘鳴	RSVよりは軽症が多い

Q どんな時、どのくらい入院となりますか？

A 発熱が持続し気管支炎や肺炎が考えられる場合、咳嗽が多く睡眠障害や経口摂取不良となった場合、喘鳴により呼吸が苦しい場合は入院を考えます。多くの子は5日以内の入院期間です。

Q どんな治療をしますか？

A ヒトメタニューモウイルスのための特效薬や予防のワクチンはありません。基本的には、症状に応じた治療(対症療法)として酸素投与、点滴、吸入などを行います。鼻汁や痰を吸引することも呼吸症状の助けになります。

Q 症状を教えてください。

A ヒトメタニューモウイルスに感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染によりうつることが多いです(マスク予防は有効です)。一般的に3～5日の潜伏期をすぎると、発熱、咳や鼻水などが数日続きます。喘鳴を来すこともありますし、長引く咳の原因ともなることがあります。幼小児では中耳炎の合併が比較的高頻度でみとめられます。



Q いつから登園、登校できますか？

A 咳などが改善し、全身状態がよくなれば登園(校)可能となります。家族や周囲の方はマスク、アルコール消毒、手洗いで予防を心がけましょう！

【第129回】日本小児科学会学術集会に参加してきました (2026.4.17～19)



▲小児科 岡田先生

普段笑顔の先生方も、
発表の時は真剣な表情ですね。
お疲れ様でした。

お写真ありませんが青木先生もご発表してきました!!